

令和7年度第1回東北森林管理局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：令和7年 8月25日)

[illegible]

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	(前回質問事項) ○入札参加資格等の拡大についての確認を実施することとされているが、その内容やその効果が分かる事例や内容などがあれば教えていただきたい。	○多くの事業者が参加できるような入札参加資格等要件となっているかを確認している。具体には工事関係では、応札できる事業者の所在地を隣接署の管内までとしているものを、県内あるいは局管内に地域を拡大する、造林・生産事業では、一部技術提案資料の提出を省略し事業者の事務軽減となるよう要件を工夫している例がある。これらにより入札参加条件を満たす事業者、入札参加を検討する事業者が増えているものと考えられる。
	○整理番号284 物品・役務で落札率がかなり低い契約があるがどのような契約なのか教えていただきたい。また、予定価格の設定は適切だったのか。	○UAVレーザ測量による立木調査等業務であり、ドローンで立木の本数、材積を調査するものであった。最新の機器を使うことで調査の効率化を図るという考えで近年取り組んでいるものである。ドローンを森林の調査で使うことはまさに技術の研鑽が進んでいるところであり、応札者4者の中で競争性が働いたものと承知している。 技術の進展を踏まえながら予定価格をどう設定していくかは引き続き検討させていただく。
	○整理番号183 随意契約の松くい虫防除事業で落札率が99%と非常に高い。一方で一般競争入札の他の松くい虫防除事業では落札率はかなり低く、随契だから高く、競争入札だから低いということが見て取れる。随契になったのはその地区に業者がいないなど原因があると思うが、競争性が発揮されるような工夫を考えていただきたい。	○承知した。
	○収穫調査委託業務の指名停止について 事業期間内に完了が困難であったとのこと。最初からかなり難しい作業だったのか。また、未実施となった箇所の扱いを教えてください。	○受注業者側で従事する作業者の確保ができなくなったことが原因であり、それに対して有効な対策を講ずることなく実施未了となったものである。 未実施箇所は令和7年度事業で実施する。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	令和7年度第3、第4四半期について、おおむね適正に行われているものと判断する。	
[これらに対し部局長が講じた措置]	該当なし	

事務局：企画調整課